

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第191期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	秩父鉄道株式会社
【英訳名】	Chichibu Railway Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大谷 隆男
【本店の所在の場所】	埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地
【電話番号】	(048)523-3311
【事務連絡者氏名】	総務部長 坂本 昌己
【最寄りの連絡場所】	埼玉県熊谷市曙町一丁目1番地
【電話番号】	(048)523-3311
【事務連絡者氏名】	総務部長 坂本 昌己
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第190期 第2四半期連結 累計期間	第191期 第2四半期連結 累計期間	第190期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
営業収益(千円)	2,774,803	2,855,804	5,512,924
経常利益(千円)	117,456	146,583	108,128
四半期(当期)純利益(千円)	107,853	132,944	89,328
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	83,931	421,399	145,002
純資産額(千円)	9,319,748	9,802,109	9,380,578
総資産額(千円)	22,913,486	23,276,862	23,493,575
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	7.25	8.94	6.01
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	40.6	42.1	39.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	39,966	98,919	323,036
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	100,689	190,763	146,857
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	76,234	1,246	3,303
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	764,281	779,645	872,736

回次	第190期 第2四半期連結 会計期間	第191期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	4.10	0.84

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2. 営業収益には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組んでおります。全ての部門において、安定的に営業利益を確保できる構造の確立を目指し営業活動に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は2,855百万円となり前年同期に比べ2.9%増加いたしました。営業利益は前年同期比19.1%増の163百万円、経常利益は前年同期比24.8%増の146百万円、四半期純利益は前年同期比23.3%増の132百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

〔鉄道事業〕

旅客部門におきましては、「わくわく鉄道フェスタ」や関係団体等と協力したハイキング、沿線にゆかりのあるアニメとのコラボレーション企画を開催するなど積極的な旅客誘致策を実施いたしました。観光シーズン中は天候にも恵まれ、S L列車も順調に運行し、長瀬・秩父地域への定期外旅客の入込が伸びたことにより、前年同期に比べて旅客収入は増加いたしました。

貨物部門におきましては、安定したセメント需要が継続し、前年同期に比べ輸送量が増え貨物収入は増加いたしました。

一方、営業費用は電気料金値上げの影響等により前年同期に比べ増加いたしました。

以上の結果、営業収益は前年同期比2.9%増の1,806百万円、営業損失は3百万円となりました。

〔鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入〕

			当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減率(%)
旅客人員	定期	千人	2,838	2,875	1.3
	定期外	"	1,470	1,399	5.0
	計	"	4,308	4,274	0.8
貨物トン数		千トン	1,088	1,073	1.3
旅客収入	定期	百万円	401	409	1.9
	定期外	"	619	588	5.2
	計	"	1,021	998	2.3
貨物収入		"	646	639	1.2

〔不動産事業〕

不動産事業におきましては、賃貸収入が寄居駅前商業施設の契約期間満了により減少いたしましたが、分譲地販売の他、仲介業にも注力し成約件数が伸びました。その結果、営業収益は前年同期比2.7%増の254百万円、営業利益は139百万円となりました。

〔観光事業〕

観光事業におきましては、天候に恵まれたことに加え、長瀬ライン下りでは観光シーズンに合せたキャンペーンを実施する等の工夫を凝らした企画立案に努めた他、県内外での広告宣伝活動や旅行者への積極的な営業を実施いたしました。その結果、営業収益は前年同期比18.3%増の185百万円、営業利益は22百万円となりました。

〔バス事業〕

バス事業におきましては、営業収益は前年同期比6.1%減の214百万円、営業損失は2百万円となりました。

〔その他事業〕

その他事業におきましては、営業収益は前年同期比2.3%増の610百万円、営業損失は1百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は779百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ15百万円増加いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は98百万円となりました。主な要因は税金等調整前純利益144百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は190百万円となりました。主な要因は固定資産取得による支出537百万円と工事負担金等受入による収入が346百万円となったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1百万円となりました。主な要因は短期借入金の純増額72百万円と長期借入れによる収入が670百万円であった一方、長期借入金の返済による支出が743百万円となったこと等によるものです。

(3)財政状態の状況

当第2四半期連結累計期間における財政状態について、総資産は、流動資産のその他に含まれる工事負担金等の未収金の減少により、前連結会計年度末に比べ216百万円減少し、23,276百万円となりました。

負債は、支払手形および買掛金が161百万円減少の他、流動負債のその他に含まれる設備投資未払金等の支払いにより、前連結会計年度に比べ638百万円減少し13,474百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、9,802百万円となり自己資本比率は42.1%となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	15,000,000	15,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	15,000,000	15,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1 日～平成25年9月 30日	-	15,000	-	750,000	-	14,106

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
太平洋セメント株式会社	東京都港区台場2丁目3-5	4,978	33.19
有恒鉱業株式会社	埼玉県深谷市田中328	2,618	17.45
中村 僚	埼玉県さいたま市中央区	394	2.63
株式会社埼玉りそな銀行	埼玉県さいたま市浦和区常盤7丁目4-1	318	2.12
柿原 愛子	東京都豊島区	236	1.57
増岡 英男	埼玉県飯能市	222	1.48
齋藤 廣一	東京都港区	200	1.33
二反田 静太郎	兵庫県西宮市	180	1.20
諸井 三佐保	東京都文京区	157	1.05
資産管理サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海1丁目8-12	134	0.89
計	-	9,437	62.91

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 129,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,636,000	14,636	同上
単元未満株式	普通株式 235,000	-	同上
発行済株式総数	15,000,000	-	-
総株主の議決権	-	14,636	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の失念株式が2,000株(議決権の数2個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 秩父鉄道株式会社	埼玉県熊谷市曙町一丁目 1番地	129,000		129,000	0.86
計	-	129,000		129,000	0.86

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	875,923	782,833
受取手形及び売掛金	351,168	235,217
分譲土地建物	311,146	289,846
商品及び製品	32,253	29,411
原材料及び貯蔵品	87,133	105,736
その他	400,404	95,814
貸倒引当金	5,253	2,272
流動資産合計	2,052,776	1,536,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,385,797	13,400,143
減価償却累計額	8,867,863	8,960,455
建物及び構築物(純額)	4,517,934	4,439,688
機械装置及び運搬具	5,078,559	5,071,960
減価償却累計額	4,439,364	4,502,715
機械装置及び運搬具(純額)	639,195	569,245
土地	15,595,262	15,588,337
その他	639,425	655,327
減価償却累計額	580,456	587,913
その他(純額)	58,969	67,414
有形固定資産合計	20,811,361	20,664,685
無形固定資産	33,682	33,373
投資その他の資産		
投資有価証券	555,064	1,001,724
繰延税金資産	1,728	1,625
その他	55,938	57,093
貸倒引当金	16,978	18,226
投資その他の資産合計	595,754	1,042,216
固定資産合計	21,440,798	21,740,274
資産合計	23,493,575	23,276,862

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	291,276	129,399
短期借入金	1,161,498	1,233,498
1年内返済予定の長期借入金	1,348,195	1,320,613
未払法人税等	20,597	19,449
未払消費税等	32,931	53,067
繰延税金負債	180	193
賞与引当金	194,398	199,101
その他	1,253,091	585,751
流動負債合計	4,302,169	3,541,074
固定負債		
長期借入金	2,763,387	2,717,590
繰延税金負債	158,919	317,098
再評価に係る繰延税金負債	5,318,213	5,315,764
退職給付引当金	1,450,246	1,452,252
特別修繕引当金	20,800	31,200
長期預り金	99,259	99,770
固定負債合計	9,810,826	9,933,677
負債合計	14,112,996	13,474,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,991	21,964
利益剰余金	969,935	832,516
自己株式	28,265	28,106
株主資本合計	226,209	88,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	296,332	584,722
土地再評価差額金	9,299,294	9,294,819
その他の包括利益累計額合計	9,595,626	9,879,541
少数株主持分	11,160	11,226
純資産合計	9,380,578	9,802,109
負債純資産合計	23,493,575	23,276,862

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業収益	2,774,803	2,855,804
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	1,975,938	2,014,926
販売費及び一般管理費	¹ 661,785	¹ 677,657
営業費合計	2,637,723	2,692,584
営業利益	137,079	163,220
営業外収益		
受取利息	88	77
受取配当金	4,729	4,775
物品売却益	-	1,489
土地物件貸付料	3,505	2,842
助成金収入	2,548	850
その他	14,344	14,216
営業外収益合計	25,215	24,251
営業外費用		
支払利息	41,947	37,806
その他	2,891	3,082
営業外費用合計	44,838	40,888
経常利益	117,456	146,583
特別利益		
固定資産売却益	376	-
工事負担金等受入額	-	34,040
補助金受入額	1,100	-
投資有価証券売却益	11	-
保険差益	65,621	-
特別利益合計	67,109	34,040
特別損失		
固定資産圧縮損	66,616	34,040
固定資産売却損	-	1,624
固定資産除却及び撤去費	36	-
投資有価証券売却損	2	-
特別損失合計	66,655	35,665
税金等調整前四半期純利益	117,910	144,958
法人税、住民税及び事業税	10,021	14,371
法人税等調整額	83	2,331
法人税等合計	10,104	12,039
少数株主損益調整前四半期純利益	107,805	132,919
少数株主損失()	47	25
四半期純利益	107,853	132,944

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	107,805	132,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,874	288,480
その他の包括利益合計	23,874	288,480
四半期包括利益	83,931	421,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,986	421,334
少数株主に係る四半期包括利益	54	65

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	117,910	144,958
減価償却費	182,868	176,530
退職給付引当金の増減額(は減少)	45,456	2,006
賞与引当金の増減額(は減少)	18	4,702
貸倒引当金の増減額(は減少)	949	1,731
特別修繕引当金の増減額(は減少)	10,400	10,400
受取利息及び受取配当金	4,818	4,853
支払利息	41,947	37,806
投資有価証券売却損益(は益)	8	-
固定資産除売却損益(は益)	2,115	2,324
固定資産圧縮損	66,616	34,040
工事負担金等受入額	1,100	34,040
保険差益	65,621	-
売上債権の増減額(は増加)	28,308	114,702
たな卸資産の増減額(は増加)	26,269	5,602
その他の流動資産の増減額(は増加)	16,218	1,249
仕入債務の増減額(は減少)	260,985	161,877
未払費用の増減額(は減少)	14,450	57,881
その他の流動負債の増減額(は減少)	33,624	122,673
長期預り金の増減額(は減少)	43,067	511
その他	1,571	585
小計	21,317	149,864
利息及び配当金の受取額	4,818	4,853
利息の支払額	42,741	39,693
保険金の受取額	103,411	-
法人税等の支払額	4,204	16,104
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,966	98,919
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	239,435	537,796
固定資産の売却による収入	400	5,300
工事負担金等受入による収入	336,797	346,638
貸付けによる支出	3,000	5,000
その他	5,927	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	100,689	190,763
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	815	72,000
長期借入れによる収入	666,000	670,000
長期借入金の返済による支出	742,923	743,377
自己株式の増減額(は増加)	126	131
財務活動によるキャッシュ・フロー	76,234	1,246
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	64,420	93,090
現金及び現金同等物の期首残高	699,860	872,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 764,281	¹ 779,645

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費の主なものは次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与・手当	243,448千円	247,565千円
賞与引当金繰入額	47,266	46,705
退職給付費用	12,660	16,416
減価償却費	45,456	43,881

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	767,468千円	782,833千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	3,187	3,187
預金及び現金同等物	764,281	779,645

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事 業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,750,121	244,895	156,590	227,619	2,379,227	395,575	2,774,803	-	2,774,803
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	4,422	3,312	447	393	8,576	201,701	210,277	210,277	-
計	1,754,543	248,207	157,038	228,013	2,387,803	597,277	2,985,080	210,277	2,774,803
セグメント 利益又は損 失()	18,596	136,400	11,403	2,644	131,851	2,251	129,599	7,480	137,079

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額7,480千円には、固定資産未実現損益の消去額447千円、セグメント間取引消去7,033千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事 業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,800,686	251,636	185,169	214,050	2,451,543	404,261	2,855,804	-	2,855,804
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	5,349	3,327	539	18	9,234	206,726	215,961	215,961	-
計	1,806,035	254,963	185,709	214,068	2,460,778	610,987	3,071,766	215,961	2,855,804
セグメント 利益又は損 失()	3,361	139,693	22,743	2,389	156,685	1,211	155,473	7,746	163,220

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額7,746千円には、固定資産未実現損益の消去額489千円、セグメント間取引消去7,256千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成25年9月30日）

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成25年9月30日）

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末（平成25年9月30日）

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間（自平成25年7月1日 至平成25年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7円25銭	8円94銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	107,853	132,944
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	107,853	132,944
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,871	14,869

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

秩父鉄道株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 裕司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 飯塚 正貴 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている秩父鉄道株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、秩父鉄道株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。